#### 第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)の開催結果について

#### 教学指導課全国高等学校総合文化祭推進室

#### 1 大会期間

平成30年8月7日(火)~8月11日(土)[5日間]

#### 2 開催地

県内17市町(長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、須坂市、伊那市、駒ケ根市、大町市、 茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、下諏訪町、木曽町)

#### 3 開催部門

演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学、特別支援学校、ボランティア、軽音楽、ダンス、産業(農業、工業、商業、家庭)、人形劇

#### 4 参加者数等

参加者数	67,415人
観覧者数	100,336人
参加学校数	3,403校(県内:345校、県外:3,052校、海外:6校)

#### 5 お成り

秋篠宮同妃両殿下に、8月7日(火)及び11日(土)の両日、お成りを仰ぎ、総合開会式及びパレード及び4部門(美術・工芸、産業(家庭)、産業(農業)、合唱)を御覧いただいた。

#### 6 長野県生徒の成績

部門	受賞者	賞
演劇	松本美須々ヶ丘高等学校演劇部	優秀賞・文化庁長官賞(優秀校東京公演出演)
(	木曽青峰高等学校演劇部	優良賞
放送	岡谷南高等学校放送部	オーディオピクチャー部門優秀賞
弁論	長野西高等学校 飯田芽生愛	最優秀賞・文部科学大臣賞
新聞	長野高等学校新聞部	最優秀賞

#### 7 大会の成果

(1) 高校生主体の企画・運営による、自主性・協働性の育成

生徒実行委員会を中心に企画・運営に取組み、各生徒の自主性や協働性の育成に寄与

(2) 高校文化部活動の活性化

本県高等学校文化連盟で未設置であった部門を大会2年前までに設置

(3) 友好の架け橋となった大会

全国や海外に散らばる高校生が交流を深めた結果、人種や国境を越えた確かな友情を育成

(4) 長野県の魅力と長野県の高校生の姿を全国に発信

総合開会式や部門大会等を通して、本県にある自然や歴史、文化等の魅力を多くの方々が実感 生徒実行委員会が大切にしたい思いを専門部生徒部会と共有し、高校生の熱い想いを全国に発信

(5) 経済波及効果

大会開催による経済波及効果は、17.0億円







# 

# 【終了報告書】





# 目 次

1	大会の趣旨	Í	•	•		•	•	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	主催、後掛	爰、協賛	等																								1
3	大会開催期	月日																									1
4	会場及び日	1程																									2
5	参加者数等	争																									2
6	開催内容	(結果)																		•		•					3
7	国際交流																			•		•					8
8	生徒実行委	5員会の	組	織。	と清	動	]																				10
9	おもてなし	,																									11
10	広報		•	•																							12
11	危機管理		•											•						•		•					13
12	宿泊等サポ	ピート室			•																						13
13	実行委員会	会の組織			•					•																	14
14	開催準備約	圣過		•																							14
15	成果									•																	14
×	参考資料																										
	【資料1】	会場及	び	日和	程																						16
	【資料2】	長野県	実	行	委員	会	:組	l織	図																		17
	【資料3】	開催準	備	経	過																						18
	【資料4】	参加状	況																								21

#### 第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)終了報告

第42回全国高等学校総合文化祭 長 野 県 実 行 委 員 会 事 務 局

#### 1 大会の趣旨

高等学校教育の一環として、高等学校生徒に芸術文化活動の場を提供することにより、芸術文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間育成を図るとともに、芸術文化活動を通じて、全国的、国際的規模での生徒相互の交流・親睦を図る。

併せて、本大会を生徒の主体性・多様性・協働性等を育む探究的な活動の場とし、新たな時代に対応した世界に通じる人材を育成するとともに、地域の個性際立つ芸術文化の振興を図る。

#### 2 主催、後援、協賛等

#### (1) 主催 39 団体

文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市 教育委員会、松本市、松本市教育委員会、上田市、上田市教育委員会、岡谷市、岡谷市教育委 員会、飯田市、飯田市教育委員会、須坂市、須坂市教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会、 駒ヶ根市、駒ヶ根市教育委員会、大町市、大町市教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、塩 尻市、塩尻市教育委員会、佐久市、佐久市教育委員会、千曲市、千曲市教育委員会、東御市、 東御市教育委員会、安曇野市、安曇野市教育委員会、下諏訪町、下諏訪町教育委員会、木曽町、 木曽町教育委員会、長野県高等学校文化連盟

#### (2) 特別後援 2企業

朝日新聞社、読売新聞社

#### (3) 後援 21 団体・企業

全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、長野県高等学校長会、長野県特別支援学校校長会、長野県私立中学高等学校協会、NHK、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、信濃毎日新聞社、長野日報社、南信州新聞社、市民タイムス、中日新聞社長野支局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野

#### (4) 協賛

大会の開催趣旨に御賛同いただいた企業や大学、各種団体などから、資金・物品等による協 賛をいただきました。

【全体協賛】57 企業·大学等

【部門協賛】142 企業・大学等

#### 3 大会開催期日

平成30年8月7日(火)~11日(土) (5日間)

#### 4 会場及び日程

【資料1】のとおりです。

#### 5 参加者数等

大会期間中の参加者数等の概要については、以下のとおりです。

#### (1) 参加者数 67,415 人 (実人数 32,608 人)

	ΕTΛ	人数	内	訳	17 L YL
	区分	(延べ数)	県内	県外・海外	実人数
	参加(a)	38, 653	7, 040	31, 613	21, 035
生徒	運営 (b)	14, 194	14, 194	0	5, 381
	計 (a+b) A	52, 847	21, 234	31, 613	26, 416
	引率(c)	9, 571	1,706	7, 865	4, 643
教員等	運営 (d)	4, 997	4, 997	0	1,549
	計 (c+d) B	14, 568	6, 703	7, 865	6, 192
	参加・引率 (a+c)	48, 224	8, 746	39, 478	25, 678
合計	運営 (b+d)	19, 191	19, 191	0	6, 930
	計 (A+B)	67, 415	27, 937	39, 478	32, 608

#### (2) 観覧者数 100,336 人

#### (3) 参加学校数(延べ数)

3,403 校(県内:345 校 県外:3,052 校 海外:6 校)

#### 6 開催内容(結果)

#### (1) 大会基本方針

信州(ここ)にあった

みすずかる信濃の国で人々は自然とともに息づき、幾重にも重なる山並みによって分かれた盆 地や谷ごとに、個性豊かな文化を脈々と創り上げてきました。未来を担う高校生が信州 (ここ) に集い、文化を継承し、新たなものを発見する、高校生の手による芸術文化の祭典を開催します。

#### 散らばる 集まる

ひろく散らばる多様な芸術文化が信州(ここ)に集まり、仲間とともに感性を磨き、全国へと文化の種子を拡げます。

#### 受け取る 渡す

先人や仲間から受け取る伝統文化や地域文化のバトンを次の世代に渡し、繋げ、信州 (ここ) から発信します。

#### 探す 見つかる

解のない問いに向き合い、仲間とともに答えを探し求める中で、成長する自分がきっと信州(こ)で見つかります。

#### (2) 総合開会式

8月7日(火)午後、秋篠宮同妃両殿下の御臨席を賜り、「ここに」をテーマにまつもと市民芸術館で開催しました。

高総文祭全体の「総合開会式」であることから、専門部の発表をメインにしました。それぞれのパフォーマンスを織り交ぜながら演劇によるストーリーが進行する「ハイブリッド形式」を採用しました。「宝物」をテーマにプロローグ、式典からはじまり、途中休息を挟まず、生徒発表と続き、最後は出演者全員のダンスによりグランドフィナーレを華やかで感動的に飾りました。

台本は専門部の魅力と高校生の本気を私たち自身が伝えようと、生徒実行委員会の各業務生徒部会の代表で構成された「シナリオ委員会」が作成しました。また、音響や映像オペレーターなどのテクニカルや実施計画書作成、会場デザインなどの仕事も生徒が手がけました。

#### ①参加・観覧者数

- ・参加生徒 844 名 (県内 731 名、県外・海外 113 名)
- 運営生徒 243 名
- · 観覧者 1,467 名

#### (2)内容

#### 【主ホール】

- ○開演前
  - ・生徒実行委員会企画:ウェルカムコンサート(高遠高校合唱部、豊科高校吹奏楽部)
  - ・生徒実行委員の活動の軌跡:スライドショー(生徒実行委員)
  - ・オープニングアクト(演劇専門部キャスト)
- ○開演(12:30)
- ◆プロローグ:長野県紹介ビデオ(放送専門部)

◆オープニング:大会テーマデジタル書道吟(吟詠剣詩舞専門部)

#### ◆式典

- ・代表生徒入場(各都道府県代表、海外4ヵ国代表、部門代表、長野県代表)
- 国歌斉唱
- ・全国高文連旗引継ぎ
- 開会宣言
- ・全国高文連の歌演奏
- 大会会長あいさつ
- ・文化庁長官あいさつ
- ・長野県知事あいさつ
- ・秋篠宮殿下おことば
- ・生徒実行委員長歓迎のことば







[生徒代表歓迎のことば]

・大会イメージソング「ここに」演奏



[開会宣言]



[大会イメージソング合唱]

- ◆生徒発表「多くの専門部に出演していただきました]
  - ・劇(演劇専門部/田川高校、松本美須々ヶ丘高校、南安曇農業高校演劇部)
  - ・アルプスの舞 (ダンス専門部/上田染谷丘高校舞踊班)
  - ·和太鼓演奏(郷土芸能専門部/辰野高校桜陵太鼓部)
  - ・チア&ミリタリーダンス(マーチングバンド・バトントワリング専門部/長野西高校バトン班)
  - ・パラパラ漫画(美術・工芸専門部/生徒実行委員、滝本萌文)
  - ・ギターマンドリン演奏(器楽管弦楽専門部/伊那弥生ヶ丘高校器楽クラブ)
  - ・唱歌「ふるさと」アカペラ合唱(合唱専門部/式典音楽隊)
  - ・吹奏楽演奏(吹奏楽専門部/松本蟻ケ崎高校吹奏楽部)
  - · 第九演奏(吹奏楽専門部、合唱専門部、器楽管弦楽専門部/式典音楽隊+合唱)
  - ・グランドフィナーレ(軽音楽専門部/県選抜バンド)(ダンス専門部/松本蟻ケ崎高校ダンス部)
  - ・出演者全員によるダンス
- ◆国際交流[各国の特徴ある本場ならではの演奏、演技を披露していただきました]
  - ・大韓民国 全羅南道珍島國樂高校「チェソクグッ」
  - ・アメリカ合衆国 ミズーリ州コロンビア市公立学校選抜「MISSOURICANA」
  - ・オーストリア共和国 ムジークギムナジウム・ウィーン「Tribute Mozart」「Tales from Vienna Wood」
  - · 中華人民共和国 河北省石家荘市河北芸術職業学院「美落子」

#### ◆2県交流

2県の生徒が協力して台本作成。出演者8名。佐賀県とインターネットを活用して練習。クイズで使用するため、うちわを受付で配布。

#### 【ホワイエ等装飾】

- ◆部門なび助 [美術・工芸専門部による 31 体のなび助を会場入口階段に設置]
- ◆写真展示 [「人」「自然」「高校生」をテーマとした写真専門部の写真 21 枚を展示]
- ◆リボン装飾 [大会テーマの「山脈渡る風」をイメージし、イメージカラー色3本を装飾]
- ◆歓迎幟旗 「書道部門制作の 16 枚と書道部門生徒部員が制作した 7 枚を展示]
- ◆プランター [農業部門の生徒が育てた花と松本市から提供された「花いっぱい運動」のプランターを会場入口に設置]
- ◆開催 28 部門のCM上映 [各部門作成PRビデオを3カ所で上映]
- ◆シードペーパー作成スライド [キャラバンの活動の様子をホワイエ天井に投影]

#### ③生徒発表

#### 【ストーリー】

主人公のモモコは熱心に取り組んでいた部活動を病気のために退部しなければならなくなります。落ち込むモモコを励まそうと、幼馴染のアミと密かにモモコに思いを寄せるエイタの2人の総文祭実行委員が「総文祭の実行委員を一緒にやろう」とモモコを誘います。

委員になったモモコは、厳しくも後輩思いのフミカから舞台監督という裏方のリーダーを任されます。大きなミスをして落ち込みますが、兄ジローから「モモコの周りには『ふるさと』がある」と電話で励まされます。ある日、フミカはある部活の発表をチェックしてくるよう指示します。モモコが向かった先は・・・

場面は、総合開会式当日。舞台袖のモモコは仲間とともに舞台を進行させていきます。そして、 グランドフィナーレを迎えるモモコ達にフミカが語った言葉とは・・・



[コロンビア市公立学校選抜]



[ムジークギムナジウム・ウィーン]



[河北芸術職業学院]



[珍島國樂高等学校]



[ダンス (上田染谷丘高等学校舞踊班)]



[和太鼓(辰野高等学校桜陵太鼓部)]



[ダンス(長野西高等学校バトン班)]



[軽音楽 (スペシャルバンドK)]



[メインキャスト]



[式典音楽隊]

#### ④グランドフィナーレ

出演した生徒全員がステージと客席通路に再登場し、大会イメージソング「ここに」(軽音楽バージョン) にのせて全員でダンスを踊りました。





#### (3) パレード

#### ①実施日時

平成30年8月7日(火)16:00~17:30

#### ②コース

伊勢町通り~本町通り~大名町通り 約900m

#### ③参加生徒

2,147名 60校(国内56校、海外4校)



[出発式・テープカット]



[長野県出演団体]



[長野県出演団体]



[クロージングセレモニー]

#### (4) 部門開催

大会開催基準規程に定められた 19 部門と協賛部門 9 部門の計 28 部門を、県内 17 市町の会場で 開催しました。

#### ①参加生徒

35,662人(実人数 18,044人)

#### ②運営体制

各部門大会の実施に当たっては、生徒部会を組織するなどして、長野県の魅力発信や記憶に残るおもてなしを踏まえた大会づくりを目指し、交流会の企画・実施や会場装飾など主体的に取り組みました。その結果、参加者や観覧者の方々から高い評価をいただき、生徒たちにとって貴重な経験となりました。

#### ③長野の魅力発信

県内各地を巡るフィールドワーク等により、参加・観覧いただいた方々に、豊かな自然に育まれ た歴史や文化など、本県の魅力を発信することができました。また、本県生徒にとっても長野の魅 力を再認識する絶好の機会となりました。

[美術・工芸部門]長野県の特産品であるりんごを高校生相互の交流の証としてビジュアル化

[書道部門]木曽産の木材に字入れをし、オリジナルコースター制作

[写真部門]善光寺の門前町である長野市、松本城を中心とした旧城下町である松本市などでの撮影 会の実施

[新聞部門]北斎と栗と花のまち小布施、真田氏の城下町松代などを取材コースとして設定

[文芸部門]信州の文学風土に触れながら文学記念館等をたずねる研修を実施

[自然科学部門]諏訪湖、霧ヶ峰、和田峠などを巡検研修のコースとして設定

[ボランティア部門]駒ヶ根市にある素材を生かしたフィールドワークと噴火災害や限界集落等に ついて巡検や実習を通して学習

[産業(農業)部門]雄大な穂高連峰を約3,000鉢の花で表現するタペストリーガーデン



[写真部門 撮影会]





「書道部門 木材への字入れ」

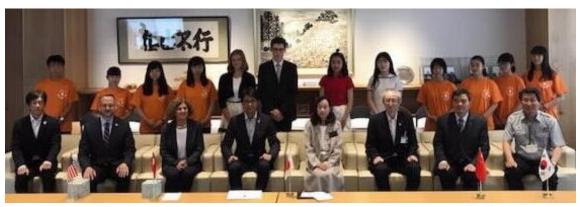


[産業(農業)部門 タペストリーガーデン]

#### 7 国際交流

長野県と姉妹提携しているアメリカ合衆国ミズーリ州のコロンビア市公立学校選抜の3校、長野県 と友好提携している中華人民共和国河北省の河北芸術職業学院、小諸高校と姉妹校協定を結んでいる オーストリア共和国ウィーンムジークギムナジウム・ウィーンの3か国5校を招へいしました。また、 次年度開催の佐賀県が招へいした大韓民国からの訪問団をあわせて、4か国6校の訪問団が来県し、 表敬訪問や総合開会式出演、開催部門等との交流を通して県内高校生だけでなく、全国からの参加者 とも交流を深めました。

招へい国	オーストリア共和国	中華人民共和国	アメリカ合衆国	大韓民国
招へい校	ムジークギムナジウム・ウィーン	河北芸術職業学院	ロック・ブリッジ高校、 バトル高校、 ヒックマン高校	珍島國樂高等學校
招へい期間	8/1 (水) ~11 (土)	8/2 (木) ~10 (金)	8/3 (金) ~11 (土)	8/1 (水) ~10 (金)
招へいした県	長野県	長野県	長野県	佐賀県
交流部門(校)	器楽・管弦楽部門 小諸高校	上田染谷丘高校	マーチングバンド・ バトントワリング部門	下高井農林高校



[副知事表敬訪問]



[歓迎レセプション]



[歓迎レセプション]



[4か国交流]



[4か国交流]



[4か国交流]



[4か国交流]

#### 8 生徒実行委員会の組織と活動

高校生の意見を大会の企画・運営に反映し、高校生が主役となって主体的に取り組むよう、県内のすべての学校から生徒実行委員を公募しました。平成28年7月に生徒実行委員会結成式を行い、翌年5月には新たなメンバーを加え、「総務部会」、「総合開会式部会」、「パレード部会」、「広報デザイン部会」、「国際交流部会」、「記録編集部会」の6部会に分かれて大会の企画・準備・運営の役割を担いました。

また、開催する28部門においても部門生徒部会を組織し、各部門大会の企画・運営を行いました。



[平成29年度結成式及び合同会議]



[合同会議での部門発表]



[生徒実行委員会]



[生徒実行委員会(全県企画準備)]

#### 9 おもてなし

#### (1) 大会参加者用お弁当

全国から集まる大会参加者に、「食」を通して長野県の魅力を伝えることをテーマに、作成に取り組みました。協賛部門である産業(家庭)部門の取り組みとしたことで、食物を専門に学ぶ高校生が、日ごろの学習の延長線上に位置づけて行うことができたこともあり、多くの作品が応募されました。2回の審査や試食会を実施した上で、5つのコンセプトのお弁当を日替わりで提供することができました。

#### [おもてなし弁当]

- 8月7日 (火) 旅する「なび助」弁当
- 8月8日(水)三県うまいもの弁当
- 8月9日(木)ずく出せ高校生弁当
- 8月10日(金)信州のおいしさ満載弁当
- 8月11日(土)国際 PEACE 弁当



#### (2) 総合案内所の設置

総合案内所をJR長野駅、JR松本駅、JR上田駅のそれ ぞれに設置しました。

案内所では大会ガイドブックの配布や会場までの道のり、 公共交通機関の乗り場案内等を行い、3駅合計で3,609名 の利用者がありました。



#### (3) 草花による会場装飾

農業に関する学科等を置く県内 11 校(下高井農林高等学校、須坂創成高等学校、更級農業高等学校、丸子修学館高等学校、佐久平総合技術高等学校、富士見高等学校、上伊那農業高等学校、下伊那農業高等学校、木曽青峰高等学校、塩尻志学館高等学校、南安曇農業高等学校)の生徒が栽培した草花(プランター1000 基)を、総合開会式会場をはじめ、各部門会場に設置しました。プランターの設置により大会会場が華やかとなり、おもてなしの気持ちを伝えることができました。



#### (4) 協賛団体等PRブースの設置

総合開会式会場及び各部門会場において、協賛団体等のPRブースを設置し、大会オリジナルグッズの販売、大学・企業等のPR活動などを行い、大会の盛り上げにつながりました。

#### 10 広報

#### (1) 公募事業

大会テーマや大会イメージソングをはじめ、大会関係の公募事業を県内の中学校、高等学校及び 特別支援学校高等部の生徒等を対象に実施し、大会開催の周知を図りました。

公募時期	平成 2	7年度	平成 28 年度					
八首山宏	大会テーマ	大会テーマ	大会イメージ	大会ポスター				
公募内容		毛筆表現		原画				
応募点数	870 点	437 点	452 点	51 点				
公募対象	県内の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校(中等部・高等部)及び							
公务对象	高等専門学校(3年次まで)に在籍する生徒							

#### (2) カウントダウンイベントの開催

生徒実行委員会の企画・運営によるカウントダウンイベントを開催することにより、大会を広く 一般県民の方々に対しPRしました。

#### ①大会1年前PRイベントの実施

開催日: 平成29年7月26日(水)

会 場:松本市音楽文化ホール(松本市)

内 容:信州で出会おう交流フェス

(大会1年前の国際交流事業として、大韓民国京畿道水原

市の梅香女子情報高等学校を招へいし、文化交流を実施)



開催日: 平成30年4月29日(日) 会場: アイシティ21(山形村) 内容: 高校文化部ステージ発表

シードペーパーキャラバン

#### ③50日前イベント(東北信地区)の実施

開催日:平成30年6月3日(日) 会 場:アリオ上田(上田市) 内 容:高校文化部ステージ発表 シードペーパーキャラバン

#### ④50 日前イベント(中南信地区)の実施

開催日: 平成30年6月17日(日)

会場:レイクウォーク岡谷(岡谷市)

内容: 高校文化部ステージ発表 シードペーパーキャラバン







#### ⑤30日前イベントの実施

開催日: 平成30年7月10日(火)

会 場:若里市民文化ホール(長野市)

内 容:高校文化部ステージ発表、部門紹介



#### (3) 広報媒体への積極的な情報提供

新聞各社及び地元テレビ局に対し、積極的に情報提供することで、生徒実行委員会や高校文化部の活動を数多く取り上げていただき、広く一般県民の方々に大会の周知を図ることができました。また、パレードコースでのストリートフラッグや部門大会開催市町での横断幕設置、生徒実行委員会生徒出演によるCMを作成し、放映するなど、大会開催の機運醸成を図りました。

#### 11 危機管理

#### (1) 危機管理部会の開催

危機管理、食品・環境衛生、学校保健などを所管する部署の職員で構成する「危機管理部会」を 設置し、危機管理体制の検討や危機管理マニュアルなどを整備し、緊急事態発生時の対応等につい て徹底を図りました。

#### (2) 危機管理体制の構築

安全・安心な大会運営を実現するため、危機管理本部会議及び危機管理部門本部会議を組織し、各会場等における事件・事故の未然防止に努めたほか、大会期間中は危機管理用携帯電話を大会本部(事務局職員)及び各部門に配備し、緊急時の連絡体制に万全を期するなど、事件・事故発生に備えました。

#### (3) 食品・環境衛生対策の実施

保健所を通じて宿泊施設や弁当調製施設に対して事前の食品衛生・環境衛生指導及び立入検査を 実施したほか、当該施設を対象とした衛生講習会を開催するなど、食中毒発生の未然防止に努めま した。

#### (4) 救護体制の構築

各会場に救護所を設置し、疾病者の発生に備えました。特に、総合開会式とパレード会場には、 3カ所に救護所を設け、医師、看護師及び養護教諭・養護助教諭を配置して対応しました。

#### 12 宿泊等サポート室

近畿日本ツーリスト株式会社長野支店、トップツアー及び日本旅行の3社によるJV(共同企業体)を宿泊等業務の協定先として選定して「宿泊等サポート室」を設置し、大会参加者等の宿泊・輸送・弁当の提供業務を行いました。

#### (1) 宿泊

斡旋宿泊数 20591 泊 (施設数 県内 149 施設)

#### (2) 輸送

弁論部門、小倉百人一首かるた部門、自然科学部門及び産業(工業)部門において、有料シャトルバスを運行しました。また、宿舎から会場へも、事前申込みによる有料バスを運行しました。

#### 13 実行委員会の組織

【資料2】のとおりです。

#### 14 開催準備経過

【資料3】のとおりです。

#### 15 成果

#### (1) 高校生主体の企画・運営による、自主性・協働性の育成

県下全域から公募により集まった91名の生徒実行委員会が中心となり、6つの部会に分かれ「2018信州総文祭」全体にわたる企画・運営を行いました。

「長野県らしい、文化系クラブの皆さんが輝ける高総文祭」を目標に各部門生徒部会と共に様々な工夫を凝らして取り組んだ結果、各生徒の自主性や協働性が育まれました。大会テーマ「みすずかる信濃に若木は競い森を深める山脈渡る風に種子を拡げて」を軸とした企画が随所で実践され、全国各地からの参加者や観覧者など各方面から高い評価をいただきました。

#### (2) 高校文化部活動の活性化

大会開催基準規程に定められた 19 部門のうち本県高等学校文化連盟で未設置であった、吟詠剣詩舞、郷土芸能、弁論、自然科学の4部門を大会2年前までに設置することができました。部門強化のため、合宿や講習会等を開催した結果、各部門の力量が向上するだけでなく、生徒同士のつながりが強くなり活動が活発化しました。

#### (3) 友好の架け橋となった大会

全国や海外に散らばる高校生が信州(ここ)に集まり、「2018信州総文祭」で交流を深めた結果、全国的、国際的な友好の輪を広げることができました。

オーストリア共和国、中華人民共和国、アメリカ合衆国及び大韓民国の高校生と長野県の高校生とが芸術文化を通して国際交流を進め、互いに尊重し合う精神の大切さを学びながら相互理解を深めることができました。交流内容については国際交流生徒部会が中心となって綿密な計画を立てて海外各校に協力を求めながら準備を進め、直前まで交流会のレベルアップを図りました。その結果、密度の濃い交流となり、人種や国境を越えた確かな友情が育まれました。

また、オーストリア共和国は器楽・管弦楽部門とアメリカ合衆国はマーチングバンド・バトントワリング部門の高校生と専門とする分野で交流を深めました。

#### (4) 長野県の魅力と長野県の高校生の姿を全国に発信

総合開会式や部門大会のフィールドワーク等を通して、本県にある自然や歴史、文化等の魅力を 全国から集まった多くの方々に実感していただきました。

生徒実行委員会が高総文祭開催にあたって大切にしたい思いをまとめた言葉「信州で出会おう 未来を創ろう 僕らの情熱で」を共有し、高校生の熱い想いを全国に発信することができました。

#### (5) 経済波及効果

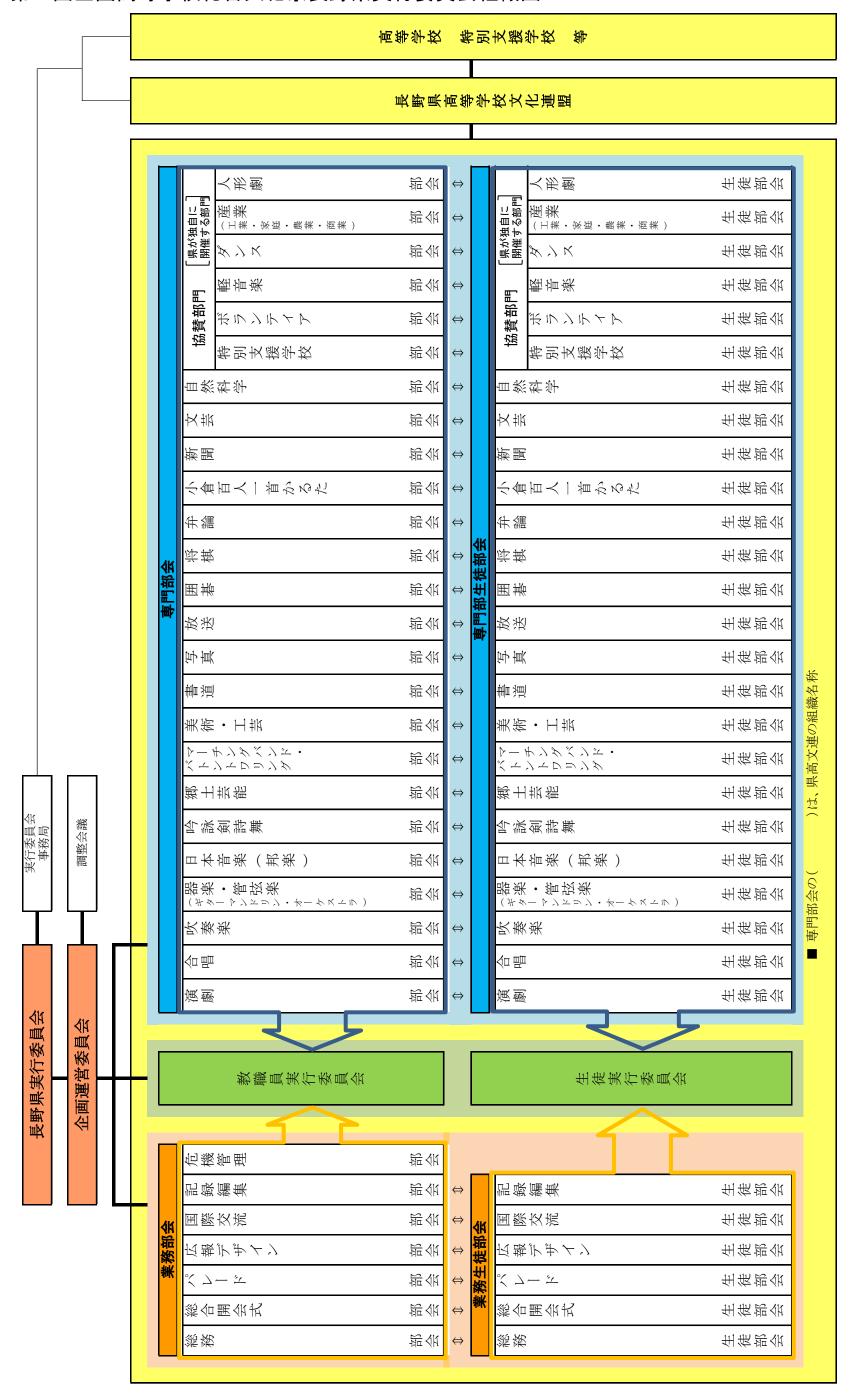
大会期間中は、大きな事故や食中毒もなく、全ての日程を予定どおり開催することができました。大会開催による経済波及効果は、17.0億円となりました。

### 【資料1】会場及び日程

# 第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭) 会場・日程一覧

				実	施日程	(平成:	30年8	月)
	開催部門	主会場	所在地		8 水	9 木	10 金	11 土
開会	総合開会式	まつもと市民芸術館	松本市	0				
行事	パレード	伊勢町通り、本町通り、大名町通り	松本市	0				
1	演劇	サントミューゼ	上田市	0	0	0		
2	合唱	ホクト文化ホール	長野市					0
3	吹奏楽	キッセイ文化ホール	松本市			0	0	
4	器楽•管弦楽	ホクト文化ホール	長野市		0	0		
5	日本音楽	レザンホール	塩尻市				0	0
6	吟詠剣詩舞	メセナホール	須坂市					0
7	郷土芸能	長野県伊那文化会館	伊那市		0	0	0	
8	マーチングバンド・バトントワリング	エムウェーブ	長野市			0		
9	美術·工芸	サントミューゼ	上田市	0	0	0	0	0
10	書道	松本市美術館	松本市	0	0	0	0	0
11	写真	豊科近代美術館 豊科交流学習センター	安曇野市	0	0	0	0	0
11	<del>                                     </del>	(撮影会)松本市、長野市				0		
12	放送	カノラホール	岡谷市			0	0	
13	囲碁	黒部観光ホテル	大町市	0	0			
14	将棋	ホテル圓山荘	千曲市			0	0	
15	弁論	サンテラスホール	東御市		0	0		
16	小倉百人一首かるた	ホワイトリング	長野市			0	0	0
17	新聞	若里市民文化ホール	長野市	0	0	0	0	0
18	文芸	佐久平交流センター 佐久大学	佐久市	0	0	0	0	0
10		(文学研修)長野市、小諸市、佐久市、軽井沢町、	信濃町		0			
19	自然科学	公立諏訪東京理科大学 (巡検研修)岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町	茅野市	0	0			
	₩.1.1.1	茅野市民館	茅野市			0		
20	特別支援学校	松本大学	松本市		0	0	0	
21	ボランティア	駒ヶ根総合文化センター (フィッルドア・グ) 駒・担吉・大曽町・阿知井・砂	駒ヶ根市		0	0	0	
22	軽音楽	(フィールドワーク)駒ヶ根市、木曽町、阿智村 他長野市芸術館	長野市			0		0
	ダンス	木曽文化公園文化ホール	木曽町				0	0
	産業(農業)	(タペストリーガーデン)ホクト文化ホール	長野市	0	0	0	0	0
	産業(工業)	公立諏訪東京理科大学	茅野市				0	0
	産業(商業)	THANKIN NOTICE TO THE	N 41 H					
	産業(家庭)	下諏訪総合文化センター	下諏訪町					0
	人形劇	+	飯田市					
25	ノヘハク原り	飯田女子高等学校				0		

#### 第42回全国高等学校総合文化祭長野県実行委員会組織図



#### 【資料3】開催準備経過

#### 第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)開催準備経過

#### 【平成24年度】

3月 1日 教育長、長野県高等学校文化連盟会長の連名で全国高等学校文化連盟会長に本県開催を申請

#### 【平成25年度】

6月27日 文化庁より開催内定の通知

#### 【平成26年度】

- 6月17日 県教委と県高文連による、第42回全国高等学校総合文化祭に向けてのスタート会議
- 7月22日 県教委と県高文連による専門部部門代表者会
- 7月27日 いばらき総文2014の視察(~31日、茨城県内)
- 12月19日 県教委と県高文連による専門部部門代表者会
  - 1月~2月 市教育委員会、市長会、町村会に対し高総文祭の概要について説明
  - 2月18日 第1回長野県準備委員会 (開催期間、協賛部門、開催地の決定方針等について審議)

#### 【平成27年度】

- 4月~5月 市町村及び県高文連専門部の希望を受け、部門ごとの開催地を調整
- 5月 8日 県教委と県高文連による企画運営委員会
- 6月22日 第2回長野県準備委員会(協賛部門、部門ごとの開催地、大会コンセプト・愛称等を審議)
- 7月中旬 大会テーマ募集開始
- 7月28日 2015 滋賀びわこ総文の視察(~8月1日、滋賀県内)
- 8月29日 大会テーマ 一次選考会
- 9月11日 大会テーマ 二次選考会 県教委と県高文連による企画運営委員会
- 10月 2日 県教委と県高文連による専門部門代表者会・部会長会
- 11月18日 第3回長野県準備委員会(大会愛称、大会テーマ、大会マスコットキャラクター等を審議)
- 11月20日 第22回長野県高等学校総合文化祭(「2018信州総文祭1,000日前イベント」実施)(~22日)
  - 1月 7日 大会テーマ毛筆表現募集開始
  - 1月15日 2018 信州総文祭マスコットキャラクター任命式(県庁)
  - 1月22日 県教委と県高文連による企画運営委員会
  - 3月17日 第4回長野県準備委員会(H28年度版ポスター、イメージソング、実行委員会等を審議)

#### 【平成28年度】

- 4月 1日 長野県教育委員会事務局に全国高等学校総合文化祭推進室を設置
- 4月29日 大会テーマ毛筆表現1次審査
- 5月12日 大会テーマ毛筆表現2次審査
- 5月24日 (公社)全国高等学校文化連盟定時総会で、第42回全国高等学校総合文化祭長野県開催が決定
- 6月 8日 文化庁から長野県開催決定の通知

- 6月14日 長野県実行委員会設立会及び第1回長野県実行委員会 ※「大会テーマ」、「大会テーマ毛筆表現」の決定・表彰
- 7月15日 平成28年度生徒実行委員会・教職員実行委員会結成式(塩尻総合文化センター) ※以降業務生徒部会随時開催
- 7月30日 生徒実行委員2016ひろしま総文視察(~8月1日、広島県内)
- 8月30日 第1回企画運営委員会(長野県スポーツ会館)
- 9月30日 第1回企画運営委員会調整会議[部門] (ホクト文化ホール)
- 10月29日 第23回県高等学校総合文化祭総合フェスティバル(700日前イベント)及びパレードにおけるPR活動(まつもと市民芸術館、松本市街地)
- 11月 6日 みやぎ総文 2017 プレ大会視察 ※生徒実行委員が、総合開会式第2部交流ステージ及びパレードに出演
- 12月 2日 「大会イメージソング歌詞」、「大会ポスター原画」募集開始(~3月8日)
- 12月26日 広報・協賛募集業務に係る業務について公募型プロポーザル実施(長野県庁)
  - 1月13日 第2回企画運営委員会調整会議[部門] (長野県総合教育センター)
  - 1月26日 宿泊等業務に係る業務について公募型プロポーザル実施(長野県庁)
  - 2月24日 第3回企画運営委員会調整会議[部門会議] (ホテル信濃路)
  - 3月14日 大会イメージソング歌詞最終選考会にて決定
  - 3月22日 第2回企画運営委員会(長野県スポーツ会館)

#### 【平成 29 年度】

- 4月20日 第1回企画運営委員会調整会議「校内担当者」(4地区)
- 5月20日 平成29年度生徒実行委員新規応募者選考(松本市中央公民館)
- 5月29日 平成29年度生徒実行委員会及び専門部生徒部会合同結成式(松本勤労者福祉センター)
- 6月 1日 第2回長野県実行委員会・大会イメージソングレコーディング(ホクト文化ホール)
- 6月23日 第2回企画運営委員会調整会議「部門」
- 7月26日 開催1年前イベント「信州で出会おう交流フェス」(松本市音楽文化ホール)
- 7月27日 梅香女子情報高等学校「大韓民国」との交流(松商学園高等学校)
- 7月29日 生徒実行委員みやぎ総文2017出演及び視察(~8月2日、宮城県内)
- 8月28日 おもてなし弁当メニュー募集開始
- 8月29日 第3回企画運営委員会調整会議「市町・部門」(長野県スポーツ会館)
- 10月 7日 おもてなし弁当メニュー第一次審査
- 10月21日 開催300日前イベント(長野駅コンコース)
- 10月28日 プレ大会総合開会式(まつもと市民芸術館) ※プレ大会パレードは雨天のため中止
- 10月29日 2県交流(松本市中央公民館)
- 11月10日 第4回企画運営委員会調整会議[部門] (長野県スポーツ会館)
- 11月11日 おもてなし弁当メニュー第二次審査
- 11月23日 第2回生徒実行委員会と専門部生徒部会の合同会議(塩尻志学館高等学校)
- 12月10日 第1回シナリオ委員会(松本市中央公民館)
- 12月28日 第2回シナリオ委員会(松本市中央公民館)
  - 1月 3日 新春PRイベント (イオンモール松本)
  - 1月 8日 第3回シナリオ委員会(松本市中央公民館)

- 1月26日 第5回企画運営委員会調整会議[部門](長野県庁)
- 1月28日 第4回シナリオ委員会(松本市中央公民館)
- 2月 4日 第5回シナリオ委員会(松本市中央公民館)
- 2月11日 第6回シナリオ委員会(松本市中央公民館)
- 2月19日 おもてなし弁当コンテスト表彰式及び試食会
- 3月15日 第3回企画運営委員会(長野合同庁舎)
- 3月21日 おぎ・もぎ・あべ鼎談におけるPR活動(ホテルメトロポリタン)
- 3月24日 2018 信州総文祭記念トレイン(長野・小諸駅間)

#### 【平成30年度】

- 4月26日 第2回企画運営委員会調整会議[校内担当者](4地区)
- 4月27日 第6回企画運営委員会調整会議「部門」(長野県庁)
- 4月29日 2018 信州総文祭開催100日前PRイベント (アイシティ21)
- 5月 3日 シードペーパーキャラバン (善光寺花回廊)
- 5月 5日 シードペーパーキャラバン(駒ヶ根家族高原村春祭り)
- 5月12日 シードペーパーキャラバン(東御市子どもフェスティバル)
- 5月19日 シードペーパーキャラバン (信濃毎日新聞社メディアガーデン前)
- 5月26日 シードペーパーキャラバン (上田高等学校)
- 5月28日 第3回長野県実行委員会・専門部生徒部会合同結成式(長野県庁)
- 6月 3日 開催50日前イベント(東北信会場・アリオ上田)
- 6月 8日 第7回企画運営委員会調整会議「部門」(長野県庁)
- 6月14日 ラジオ生出演による広報活動
- 6月17日 開催50日前イベント(中南信会場・レイクウォーク岡谷)
- 6月21日 ラジオ生出演による広報活動
- 6月22日 お成り協議(秋篠宮家)
- 6月28日 ラジオ生出演による広報活動
- 7月 5日 ラジオ生出演による広報活動
- 7月10日 開催30日前イベント(若里市民文化ホール) 御進講(秋篠宮家)
- 7月12日 ラジオ生出演による広報活動
- 7月19日 ラジオ生出演による広報活動
- 7月21日 シードペーパーキャラバン(長野東急)
- 7月22日 総合開会式総合リハーサル・第37回生徒実行委員会(まつもと市民芸術館)
- 7月26日 ラジオ生出演による広報活動
- 8月 2日 ラジオ生出演による広報活動
- 8月 6日 ラジオ番組での生中継レポート
- 8月 7日 ラジオ番組での生中継レポート
- 8月 8日 ラジオ番組での生中継レポート
- 8月 9日 ラジオ生出演による広報活動及び生中継レポート
- 8月10日 ラジオ番組での生中継レポート
- 8月31日 第8回企画運営委員会調整会議[部門](長野県庁)
- 9月 2日 生徒実行委員会解散式(松本大学)

## 2018信州総文祭 大会参加者数等部門別一覧

				- <del></del>		会参加生徒	数			
部門等	主会場		県内			県外·海外				
		校数	実人数	延人数	校数	実人数	延人数	校数	実人数	延人数
総合開会式	まつもと市民芸術館	48	731	731	59	113	113	107	844	844
パレード	伊勢町通り、本町通り、大名町通り	2	179	179	58	1,968	1,968	60	2,147	2,147
演劇	サントミューゼ	4	19	57	23	235	705	27	254	762
合唱	ホクト文化ホール	37	247	247	127	1,632	1,632	164	1,879	1,879
吹奏楽	キッセイ文化ホール	24	258	516	56	1,987	3,974	80	2,245	4,490
器楽・管弦楽	ホクト文化ホール	18	191	382	91	1,854	3,708	109	2,045	4,090
日本音楽	レザンホール	8	48	96	58	770	1,540	66	818	1,636
吟詠剣詩舞	メセナホール	12	19	19	97	273	273	109	292	292
郷土芸能	長野県伊那文化会館	2	33	99	55	1,439	4,317	57	1,472	4,416
マーチングバンド・バトントワリング	エムウェーブ	10	263	263	54	1,881	1,881	64	2,144	2,144
美術·工芸	サントミューゼ	7	7	7	321	426	426	328	433	433
書道	松本市美術館	7	26	52	265	344	688	272	370	740
写真	豊科近代美術館	6	13	39	271	383	1,149	277	396	1,188
放送	カノラホール	11	45	90	309	1,047	2,094	320	1,092	2,184
囲碁	黒部観光ホテル	7	14	28	169	222	444	176	236	472
将棋	ホテル圓山荘	9	14	28	225	446	892	234	460	920
弁論	サンテラスホール	3	3	6	69	69	138	72	72	144
小倉百人一首かるた	ホワイトリング	3	8	24	163	348	1,044	166	356	1,068
新聞	若里市民文化ホール	5	8	24	128	351	1,053	133	359	1,077
文芸	佐久平交流センター	5	5	15	174	196	588	179	201	603
自然科学	公立諏訪東京理科大学	13	42	126	174	534	1,602	187	576	1,728
特別支援学校	松本大学	19	510	1,530	1	1	3	20	511	1,533
ボランティア	駒ヶ根総合文化センター	26	185	555	48	137	411	74	322	966
軽音楽	長野市芸術館	7	32	32	21	104	104	28	136	136
ダンス	木曽文化公園文化ホール	27	664	1,328	11	329	658	38	993	1,986
産業(工業)	公立諏訪東京理科大学	12	112	224	29	89	178	41	201	402
産業 (家庭)	下諏訪総合文化センター	4	90	90	1	20	20	5	110	110
産業(農業)	ホクト文化ホール	5	45	225	0	0	0	5	45	225
産業(商業)		3	6	18	0	0	0	3	6	18
人形劇	飯田女子高等学校	1	10	10	1	10	10	2	20	20
	<b>-</b> 合計	345	3,827	7,040	3,058	17,208	31,613	3,403	21,035	38,653

		引率教員	 員等人数						スタッフ	
県	内	県外・	海外	合	計	観覧者数	教	員	生	徒
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
87	87	65	65	152	152	1,467	62	209	243	866
7	7	183	183	190	190	15,000	57	107	271	542
7	21	37	111	44	132	5,355	117	386	377	1,262
46	46	179	179	225	225	4,080	58	112	299	597
23	46	115	230	138	276	5,374	69	207	194	582
34	68	148	296	182	364	4,688	32	96	134	395
26	52	164	328	190	380	4,743	125	357	309	976
8	8	242	242	250	250	1,713	30	83	126	351
7	21	196	588	203	609	8,309	171	469	450	1,331
10	10	54	54	64	64	5,722	65	130	227	454
7	7	360	360	367	367	5,201	57	887	487	1,216
7	14	263	526	270	540	6,798	55	247	465	1,053
6	18	288	864	294	882	3,652	59	184	327	815
18	36	332	664	350	700	2,259	28	94	133	454
7	14	192	384	199	398	462	54	91	64	111
8	16	225	450	233	466	1,453	28	72	82	201
3	6	69	138	72	144	900	46	114	92	270
3	9	148	444	151	453	1,335	44	113	134	378
18	54	149	447	167	501	1,091	18	102	54	299
5	15	153	459	158	474	960	33	105	117	324
12	36	188	564	200	600	1,676	61	107	229	421
267	801	1	3	268	804	1,779	63	185	22	37
49	147	51	153	100	300	1,291	49	127	179	468
9	9	23	23	32	32	1,423	21	63	30	90
30	60	11	22	41	82	2,890	30	90	65	195
19	38	42	84	61	122	786	56	162	70	194
30	30	2	2	32	32	893	30	54	101	189
5	25	0	0	5	25	8,768	15	21	45	60
1	3	0	0	1	3	-	2	9	4	12
2	2	2	2	4	4	268	14	14	51	51
761	1,706	3,882	7,865	4,643	9,571	100,336	1,549	4,997	5,381	14,194